

はじめに

海に囲まれた島国日本。「海はふるさと」と言いますが、大人も子どもも海で遊ぶ機会が少なくなりました。「海離れ」という言葉が聞かれるようになってかなりの年月がたちます。

しかし一方では、自然体験活動は多くの人々に感動を与えると共に、「なぜ?」、「どうして?」など考えを深め、「体験」を通して子どもたちの思考を活性化させ、学ぶことの喜びや意欲を生み出すことにもつながっていくと考えられています。

そういったことから、近年多くの人々が海辺の体験活動を通して、海とのふれあいを楽しみ、海の大切さを学び、そして、海の世界を守ることの大切さを実感しています。

海の魅力や海的美しさなどにふれる「海辺の自然体験」は、海と人との豊かな関係を築くだけでなく、健やかな心と体を育み、人と人とのよりよい関係を築きます。

2006年に設立された特定非営利活動法人 海に学ぶ体験活動協議会（通称 CNAC）は、海辺の自然体験活動の普及をめざし、様々な活動を展開してきました。特に、安全の確保は最優先課題であり、指導者の育成や子どもから指導者を対象とした安全教室の実施に使用できる安全小冊子の作成と安全講座の実施に力を入れてきました。

CNACでは、2015年度からは具体的な海辺の自然体験活動を普及するために、海辺の環境教育プログラムに関する研究を進め、2016年度は現場で使われている多くのプログラムから特徴的なプログラム、比較的实施しやすいプログラムをまとめたプログラム事例集を作成いたしました。この事例集は専門的な知識を持つ指導者ではなく、一般の方々、ご家族や地域の子供会などのグループが気軽に海辺の自然体験活動が出来るようになっており、「海あそびレシピ」と名付けました。

「海あそびレシピ」は、基本的に見開きの2ページで1つのプログラムを紹介していて、実施する方法やプログラムの目的、準備する道具や服装のこと、プログラムの進め方まで掲載されています。プログラムが海辺の環境（活動場所）別に整理されており、自分が興味をもったものを簡単に調べることができます。

海に入る活動はもとより一年中を通して海に関する活動も取り扱っており、より多くの方々が気軽に「海」に興味を示し、「海」に関心を持ち、「海」に対する理解を深めることが出来るプログラムとなっております。ぜひ、体験してみてください。

この「海あそびレシピ」を活用して、海辺の自然体験活動がさらに普及することを願っております。

平成 29 年 2 月

特定非営利活動法人 海に学ぶ体験活動協議会
代表理事 三好利和